

オリコミタウン
Ver3.8 追加／改修機能のご紹介

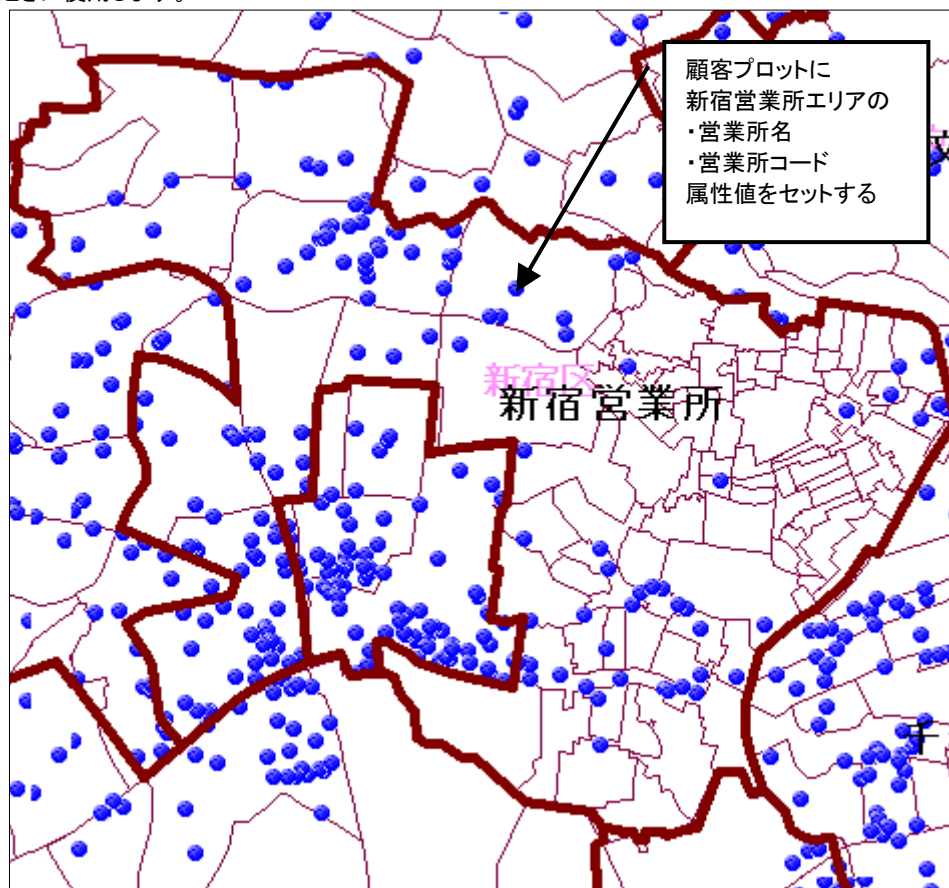
2013/02/12

オリコミタウン Ver3.8 で以下の機能を追加しました。

- ・ プロットにエリア属性値を取り込む
- ・ 現在の表示状態を保存と復元
- ・ 「システムフォルダを開く」

プロットにエリア属性値を取り込む

プロットがある位置のエリアの属性値をプロットの属性として取り込みます。例えば営業所のテリトリーエリアに営業所コードが付けられているとき、営業所テリトリー内の顧客プロットに対して営業所コードを付与する、といったときに使用します。




「エリア属性値取込み」機能の呼び出しは、プロットパネルのグループツリーでグループを選択し、マウス右クリックメニュー「エリア属性取込み」から行います。

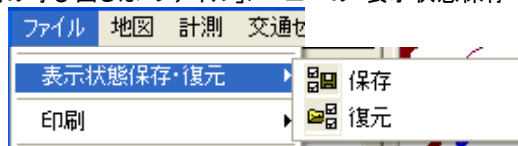
現在の表示状態を保存と復元

EarthFinder は終了時に表示していたプロット、エリア、および地図の中心位置および縮尺を保存し、次回起動したときにその状態を復元しています。

Version3.8 では、1台のPCで複数の方が EarthFinder を使用されている場合を考慮して、任意の時点で上記の表示状態を名前を付けて保存し、これを復元できるようにしました。加えて、グラフについても保存・復元を行います。

 プロットとエリアはあくまでも表示状態(表示／非表示)の保存で、データ自体は保存されません。表示状態を保存したのちに、プロットグループやエリアグループを削除した場合、エラーとはなりませんが、データの復元はされません。

機能の呼び出しは「ファイル」メニューの「表示状態保存・復元」から行います。



システムフォルダを開く

本システムの設定ファイル等が格納されたフォルダをエクスプローラで開く機能です。

クリックワンス版のオリコミタウン ASP は、Microsoft のアプリケーション配布の仕組みを使っているため、設定ファイルが非常に深い位置に作成されます。

例) C:\Documents and Settings\KKC\Local Settings\Apps\2.0\OQRKK409.2YW\201C00XW.WYE\mark..
tion_a272b3cee651c025_0001.0000_22cd93d5f754bd9f

操作のお問い合わせ時に、弊社から設定ファイルを確認させていただきときのご利用を想定した機能です。

機能の呼び出しは「ファイル」メニューの「システムフォルダを開く」から行います。

以上